科目名称	母性看護学Ⅰ（母子の看護）	学年学期	単位数	時間数
		第２学年　後期	1	30
担当教員	小池　佐知	授業に関わる実務経験	■　有　（　助産師　） □　無	

【1】 授業概要

マタニティーサイクルにある女性を看護するための基礎的知識を学び、対象の健康段階に応じた看護を行うための科学的思考を身につける。

【2】　学習目標

1. マタニティーサイクル各期の正常な経過を学び、看護師としての援助方法について理解できる。
2. 新生児期の正常な経過と新生児の基本的な看護について理解できる。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■　1. 生活者としての人間の理解
■　2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■　3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■　4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■　5. 多職種との連携・協働
■　6. 地域医療の理解と生活の支援
■　7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	授業の進め方	講義
2	妊娠期における看護①　妊娠期の身体的特徴	講義
3	妊娠期における看護②　妊娠期の心理・社会的特徴	講義
4	妊娠期における看護③　妊婦と胎児のアセスメント	講義
5	妊娠期における看護④　妊婦と家族の看護	講義
6	分娩期における看護①　分娩の経過に伴う産婦の変化とアセスメント	講義
7	分娩期における看護②　産婦・胎児・家族のアセスメント	講義
8	分娩期における看護③　産婦と家族の看護	講義
9	産褥期の経過と褥婦および家族のアセスメント	講義
10	褥婦と家族の看護	講義
11	新生児の生理	講義
12	新生児のアセスメントと看護	講義
13	育児技術の習得および家族関係再構築の支援①	講義
14	育児技術の習得および家族関係再構築の支援②	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験 80%、課題レポート 20%

【6】 教科書

森　恵美：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学２　母性看護学各論（第 14 版）　医学書院　2022　（電子版）

【7】 参考書

井上　裕実：病気がみえる 10　産科（第４版）　メディックメディア　2018 年

【8】 受講生へのメッセージ

周産期における生理的な変化について学びます。妊娠・分娩・産褥期の経過が正常であるかアセスメントするための基本的な視点を理解することで母性看護学Ⅱの授業・演習へとつながる知識となります。